



東日本大震災復興支援イベントに参加 川越市

南相馬の新鮮野菜や伝統文化を披露

11月15日(日)埼玉県川越市「ウエクス川越にぎわい広場」及び、「鍛冶町公園広場」で開催された「東日本大震災復興支援イベント」に参加しました。このイベントは震災以降、当プロジェクト、及び、南相馬市を支援して下さっている埼玉県の川越市の「みんなの手」及び、「高齢社会をよくする会」川越」の皆さんが主催しているチャリティイベントです。

南相馬の新鮮野菜等の販売を行うと同時に、南相馬の現状等を川越市のみならずにお伝えし、私共の頑張りや農産物等の風評被害の払拭に努めることを目的として参加しています。

今回は、「原町民謡同好会桜井町会」「ひばり法螺貝愛好会」の協力により、相馬民謡や法螺貝の吹奏をを披露することができました。

また、「原町写真連盟」の協力で震災当時から南相馬の写真や相馬野馬追等の写真の展示も行うことができ、より多くの方々に南相馬、そして、震災からの歩みを写真を通じてお伝えすることができたものと感じております。

地元協力団体のみならず、川越の主催団体のみならず、そして、会場において下さったお客様に、心か厚く御礼申し上げます。

本場にありがとうございます。

旬しゅん・直ちよく・便りだよ
いちばん星いちばん

2015年 12月号

2015. 12. 11 発行

第21号

発行：一般社団法人
いちばん星南相馬プロジェクト

新潟県阿賀町を視察

● ● 農家民宿視察研修会 ● ●



11月12日(木)～13日(金) にかけて南相馬の農家民宿の皆さんと視察研修に参加しました。

新潟県阿賀町の民泊・農家民宿の取組について勉強し、民泊を活用した教育旅行の取組み、素晴らしい実績など、学ぶところが大いにありました。

宿泊は、「農家民宿和彩館」・・・、オーナーご夫婦と民宿談義に花が咲きました。翌日は、西会津町の「キノコハウス」でランチをいただきました。オーナーの佐藤昭子さんとは、当プロジェクトが主催した「6次化実践塾」の講師としてお招きして以降、何かとお世話になっています。

今回参加した農家民宿のみならず、塾生として参加しており久々の再開となりました。

藍染め体験とはらこ飯交流会

● ● 農家民宿かあちゃんの会 ● ●



12月2日(水)南相馬市鹿島区の万葉ふれあいセンターにて、二本松市東和支部の生活研究会のみなさんをお迎えし、藍染めサークルのみなさんと農家民宿かあちゃんの会連携による「藍染め体験とはらこ飯交流会」が開催されました。

藍染の原料となる藍を種から育て、葉を採取して先ず生葉で藍染め(8月～10月まで)をし、その後乾燥葉で藍染を行います。藍には抗菌作用、防虫、腐食、腐臭、保湿、保温、紫外線遮断など、様々な効用があります。

体験終了後は、はらこ飯を食べながら、楽しい交流会。東和のメンバーには、農家民宿を営んでいる方もおり、貴重な時間となりました。今後もこうしたイベントに積極的に取り組んで参ります。

旬直部会だより ⑩

石橋みちこさん

(原町区牛来)



代々の農家で、ナメコやシイタケ栽培を中心とした農家経営でしたが、現在は、野菜(ハウス)を中心とした経営に切り替え、早いもので20年が経っています。

実母(83歳)と2人3脚で、毎日、楽しく野菜づくりに励んでいます。

今回は、私と母が丹精込めて生産した「ピーマン」をお入れしました。

是非、ご賞味ください。

母が自慢の野菜は、これからの時期、鍋物には欠かせない「春菊」です。

近々、お送りしますので、ご家族で「鍋」、そして、我が家の「春菊」を味わってください。

月いちカフェに参加 - 桐生市 -

… 愛宕梨が大好評 …



今回(11月21日(土))は、旬直部会メンバーの工房ジュンの「切り餅」や稲木ファームのミニトマト、いちばん星の畑で採れた野菜などを販売しました。併せて、地元、小高商業高校生が発案し商品化された「だいこんかりんとう」も販売しました。

お蔭様で、順調に売れ、桐生のみなさんに感謝です。

次回は12月19日(土)の予定です。

お近くの方は足を運んでみてはいかがでしょうか。

「レンタルホール れんが蔵」

群馬県 桐生市浜松町1-14-23

今月の「旬・直・おまかせ便」
12月11日(金) 発送 ★

1. 里芋	7. キャベツ
2. 人参	8. ピーマン
3. 大根	9. ブロッコリー
4. 切り餅	10. サラダセット
5. さつまいも	11. ハックルベリー (レシビアり)
6. ちぢみ菜	

計. 11品目

早かった一年

理事長 星 巖

あっという間に過ぎた一年でした。

お蔭様で、ご縁がつながり、宿泊は順調に推移しておりますし、「旬直おすすめ便」も地道な展開となっておりますが、着実にお客様が増えていきます。

本年2月には、旬直便に協力いただいている生産者のみなさんと、「旬直部会」を設立しました。今後、本部会を中心に、新たな展開を模索中です。一方、地域農業の先行きが不透明で、これからが正念場だと思っております。

4年間の活動で、当プロジェクトの方向が確認されましたが、刻々と変化する情勢を的確に捉え、メンバー、スタッフ一同、そして、地域農業の担い手のみなさんとともに、「新たな活力ある地域づくり」に邁進いたしますので、今後ともご支援の程、よろしくご依頼申し上げます。

来る2016年がみなさまに幸多き年となりますようお祈り申し上げ、今年一年の御礼といたします。

— 今月の花 — 「山茶花」… サザンカ …

… 花言葉 …

困難に打ち勝つ



編集後記

今年も残りわずかがなりました。当民宿をご利用いただいた皆様、また旬直便をご利用いただいた皆様には、心から厚く御礼を申し上げます。振り返りますと、私自信、多くの方々と「縁起繋がった一年」でありました。「旬直便り」を「愛読賜りました」と、そして、明年も読んでみたいと言われる「旬直便り」づくりに心かげますので、今後とも、「愛読の福」をしっかりと願っています。

皆様の「希望」に輝く「初春」が、お蔭やかにお迎えできますことを心から祈念し、本年最後の「挨拶」といたします。

スタッフ 高田文佑 廣